

1992年度日本気象学会総会議事録

場所 つくば市東1丁目
会場 工業技術院筑波研究センター共用講堂
日時 1992年5月27日 14時15分～16時15分
次第

1. 開会
2. 議長選出
3. 理事長挨拶（竹内理事長代理）
4. 学会賞授与
5. 藤原賞授与
6. 1991年度事業報告
7. 1991年度決算報告
8. 1991年度監査報告
9. 会費値上げに関する「定款の一部改正」(案)
10. 1992年度事業計画(案)
11. 1992年度収支予算(案)
12. 議長解任
13. 閉会

通常会員数 3,813名(1992年5月25日現在)

出席者数

総会出席数(総会成立に必要な最少人数)
 出席者 179名(153名;通常会員の1/25)
 委任状 827名

合計 1,006名(763名;通常会員の1/5)

1. 開会

青木庶務担当理事から開会時の出席者総数(166名)及び委任状総数(827名)の報告があり総会成立が宣言された。

2. 議長選出

満場一致で、大会委員長の小長俊二会員(気象研究所)が議長に選出された。

議長から『有意義な総会となるよう活発な討論を期待する』との挨拶があった。

3. 理事長挨拶

・理事長が外国出張中のため、竹内理事長代理が代読した。

『大会におきます研究発表は年ごとに充実してきておりますが、本大会の研究発表件数は289件に達し記録を更新いたしました。またテーマ別の研究会も活況を呈しています。まことにご同慶のいたりと思います。従来3

会場3日間の大枠のもとに春秋の大会を運営して来ましたが、本大会では4会場といたしました。このような立派な会場で盛会のうちに開催できますこと、小長大会委員長、横山副委員長をはじめ、実際大会の運営にあたってこられた気象研究所、資源環境技術総合研究所、国立環境研究所および筑波大学の皆様がたのおかげと、深く感謝いたします。また、本会場を快くお貸し下さった工業技術院関係者にもお礼申し上げます。

さて、この6月にブラジルで「地球サミット」が開催されますことは新聞等で広く報道されていますが、これに象徴されますように、地球規模の環境問題は今や全世界の政治や社会の大問題となっております。ところで問題の基礎となります科学的知見はまだ十分なものとは言えません。各種の議論をし対策を考えるうえでも、なるべく早い時期に精度高く満足できるものとしていかねばなりません。関係する学会は数多くありますが、私たち気象関係者は、この内容から言いつてもまた、総合し取り纏めの能力から言いつても、その中心的な役割を果たすべきものと考えます。いわゆるブームに終わらせることなく地道で着実な実績を積み重ねて行きたいと思つています。

このような状況のなか、来年1993年7月横浜におきまして第6回国際気象学大気物理学協会科学会議が第4回国際水文科学協会科学会議と共催(IAMAP-IAHS 横浜)で開催されます。このことはすでにご報告しておりますが、いよいよ1年後に迫ってまいりました。全世界の関係研究者約2千名が参加する予定になっています。私たち日本気象学会といたしましても是非とも成功させたいものと考えています。そのため本年1月には組織委員会を発足させました。事務局は気象研究所に置き、実行委員会のメンバーを中心として多くの関係各位のご協力を得て種々の準備をいたしております。本年3月にはファーストサーキュラを出し、現在セカンドサーキュラを準備しています。献身的に作業を進められている関係者に感謝するとともに、会員各位の今後とも一層の積極的参加をお願いします。

本総会の一番大きな議題かと存じますが、会費の値上げにつきまして是非とも会員の皆様がたのご賛同をお願いすることになりました。ますます幅広い領域にわたって活発化する国内外の研究活動につきまして、本学会が

適切に対応して行くためには、財政基盤を安定させることが不可欠と存じます。諸物価の漸増や消費税の導入等による支出増にもかかわらず、会員の方がたのボランティア的なご協力や諸経費の節約、事業収入の増加策などによりまして、学会活動を低下させることなく、また会員へのサービスを落とすことなく、今日まで10年近く会費を値上げしないで懸命に努力をしております。

これらの経緯につきましては、「天気」に掲載し、理事長の年頭の挨拶でも触れましたように、この1年近く理事会で検討を重ねてきましたが、このたび、学会の健全な財政と運営、学会活動のより一層の強化のため、本総会で会費の値上げを提案することといたしました。会員の皆様がたのご審議をいただき、事情ご賢察のうえ、ご承認下さるようお願いいたします。

続いて最近の話題として若干付け加えさせていただきます。まず国際的な活動ですが、国際学術交流基金は、若手研究者の国際研究集会への参加の補助として大変有効に活用させて頂いております。また本学会との共催あるいは後援する国際研究集会も年末までに3つほどあります。

ついで技能認定についてであります。米国にはこの制度があり米国気象学会は以前からコンサルタント気象技能士 (consultant meteorologist) の認定を行っております。わが国でもこのような制度の導入を考えておられるようで、気象庁からご要望があれば本学会としてどのような対応をすればよいか検討することとしています。

最近、著作権の保護に関しまして新たな動きがあります。去る1991年日本複写権センターが設立され、複写権の委託と集中管理を行うようになりました。本学会もそれに委託する方向で検討を進めています。

終わりにりましたが、事務局の強化、役員選挙を含む運営、体制全般についての見直しにつきましては、現在検討を行っていますが、まだ成案を得ていません。次期に引継いで検討して頂くことになります。

なお、気象研究ノートなどを担当されておりました村山理事がつい先日亡くなりました。心からご冥福をお祈りいたします。つきましては、本学会定款(欠員補充)により松野太郎会員が理事となられたことをご報告いたします。』

4. 学会賞受賞者の選定経過報告と授与式

学会賞候補者推薦委員長の田中理事から選定経過およびその理由について報告があり、竹内理事長代理から受賞者に賞状並びに賞金・メダルが授与された。

受賞者と業績

余田成男(京大大学院理学部)

『簡単化された非線形モデルによる大気循環形態の研究』

5. 藤原賞受賞者の選定経過報告と授与式

藤原賞候補者推薦委員長の小倉理事から選定経過およびその理由について報告があり、竹内理事長代理から受賞者に賞状並びに賞金・メダルが授与された。

受賞者と業績

松野太郎(東京大学気候システム研究センター)

『大気力学並びに気候変動の研究の推進』

6. 1991年度事業経過報告

青木庶務担当理事から総会資料に基づいて報告が行われた。

7. 1991年度決算報告

中村会計担当理事から総会資料に基づいて報告が行われた。

8. 1991年度監査報告

関口監事から4月16日に実施した監査結果が大会資料に基づいて報告され、監査意見が述べられた。

以上3件(6.7.および8.)の議案について、議長から質疑を求めたが意見がなく、賛成多数により議案どおり承認された。

9. 会費値上げに関する「定款の一部改正」(案)

中村会計担当理事から会費の値上げの提案趣旨について、大会資料に基づいて説明が行われた。

本議題について議長から質疑を求め、出席会員からそれぞれ大要次の意見があり、それぞれの担当理事から回答された。

(意見)『学会の運営はどのような規模で行うかという大方針が重要である。』

(回答)『学会の運営規模は会員の意向に基づいて拡大してきている。今回の値上げでは学会事務局の拡充に意味がある。』

(意見)『今回の気象集誌「モンスーン特集号」は一人分の論文が長すぎたのではないか。』

(回答)『招待論文への反応が高く、またレビューが多かったためである。また、今回の会費値上げと本件とは直接関係無い。』

(意見)『「モンスーン特集号」は今後の運営のよい教訓となる。残部について WMO からの注文もあり国際的に評価されると期待する。』

(意見)『雑誌配布を受けないでその他の特典だけを受

けるという会員の種類の新設を提案する』

（回答）『会費値上げの趣旨の補足も含めて回答する。昨年度は気象研究ノートの収益は少なかったが、このような収益に依存する会計計画は見直したい。今回は、経常的に必要な経費の負担＜事務局体制の強化＞は会費の値上げでお願いしたい。本日述べられた貴重な意見の趣旨を汲み取り、今後の運営に反映したい。』

議長から質疑も出尽くしたので採決に入りたい旨発言があり、15時55分採決に入った。議場を閉鎖した時点での出席会員数は179名であった。

出席者 179名中、賛成 152, 反対 12, 保留 15.

委任状 827通中、賛成 80, 反対 37, 保留 5, 白紙委任 705で、白紙委任は賛成に組み入れることが確認された。これにより本議題に対する賛成は 937, 反対 49, 保留20で、出席総数1,006の 2/3 の 671 以上の賛成が得られたことが確認され、議長に報告された。

以上により、会費値上げに関する「定款の一部改正」(案)は可決された。

10. 1992年度事業計画案

青木庶務担当理事から総会資料に基づいて提案された。

11. 1992年度予算案

中村会計担当理事から総会資料に基づいて提案された。

以上2件(11.及び12.)の議案について、議長から質疑を求めたが意見がなく、賛成多数により議案どおり承認された。

12. 議長解任

総会の議事運営に関し、議長から会員の協力に感謝する旨の挨拶の後、退任した。

13. 閉会

以上をもって、総会を終了した。

総会議長 小長 俊二

出席者代表 長谷川隆司

出席者代表 田中 豊頭

1991年度事業報告

1 会員数の動向 (1992年 3月 1日現在)

会員数合計	4,261	(昨年より+1)
個人会員	3,827	(+53)
一般 A	2,586	(+31)
B	1,003	(-8)
学生 A	123	(+22)
B	77	(+6)
名誉会員	4	(-1)
特別会員	34	(+3)
団体会員	434	(-52)
団体 A	120	(-13)
B	174	(-83)
賛助会員	46	(-1)
特別会員	94	(+45)

(注) 本年度から書店等を除外して示した。

2 機関誌等の刊行

- (1) 天気 38巻4号-39巻3号 12冊(798頁)
(昨年度より44ページ増) 各号約4400部印刷。
カラーページの充実と90年代の気象学の手引を開始した。
- (2) 気象集誌 69巻2号-70巻1号 6冊(714頁)
(昨年度より29ページ減) 各号1900部印刷。
アジアモンスーン特集号を刊行した(541頁)。
- (3) 気象研究ノート 各号1800部印刷
171号「農業気象研究の最近の進歩」188頁
2100部印刷
172号「メソスケール気象」251頁, 1800部印刷
173号「気象統計」69頁, 1800部印刷
158号「酸性雨」(再発行) 168頁, 300部印刷
- (4) 予稿集 春季大会 1100部
秋季大会 1050部印刷

3 会議

- (1) 総会 1991年 5月23日 気象庁講堂
出席者: 172名、委任状: 773名、計: 945名
ア 1990年度事業報告・決算報告、
1991年度事業計画・予算等が承認された。
イ 奨励金受領者選定規定の改正が承認された。
- (2) 理事会
第26期第 3回 1991年 5月22日 気象庁
第26期第 4回 1991年10月23日
名古屋国際会議場

(3) 常任理事会

第26期第 8回-第14回 計 7回 気象学会事務局

(4) 評議員会

第26期第 2回 1992年 2月 3日

千代田区立産業会館

4 講演会および研究会

- (1) 春季大会 1991年 5月22日-24日
東京: 気象庁(担当: 東京大学)
シンポジウム「炭素循環の謎を考える」
- (2) 秋季大会 1991年10月23日-25日
名古屋: 名古屋国際会議場(担当: 中部支部)
シンポジウム「グローバル水循環とアジア」
- (3) 研究会等
ア オゾン研究会 東京 1991年 5月22日
イ 同 名古屋 1991年10月23日
ウ 極域研究連絡会 東京 1991年 5月21日
エ 大気海洋相互作用に関する研究会
東京 1991年 5月21日
オ 同 名古屋 1991年10月22日
カ 第1回メソ気象研究会
東京 1991年 5月21日
キ 第2回 同 名古屋 1991年10月22日
ク 第3回夏の学校 京都 1991年 7月19-21日
- (4) 月例会等
ア 第35回山の気象シンポジウム
1991年 6月15日
イ 長期予報と大気大循環 1991年10月 1日
ウ レーダー気象 1991年12月13日
- (5) 他学会との共催等
ア 第28回理工学における同位元素研究発表会
1991年 7月 1- 3日
イ 第38回風に関するシンポジウム
1992年 3月 6日
ウ 第2回地球惑星科学関連学会シンポジウム
1991年 4月 6日

5 研究業績の表彰および研究の奨励

(1) 研究業績の表彰

ア 日本気象学会賞

廣岡俊彦 青木忠生

- イ 藤原賞
荒川昭夫 北川信一郎
ウ 山本・正野論文賞
佐藤 薫
エ 堀内基金奨励賞
大村 纂
- (2) 奨励金受領者
榎野泰夫 浅野浅春
岡田哲也 居島修
- 6 支部活動
- (1) 北海道支部
ア 第1回研究発表会(北大) 1991年 6月11日
イ 第2回研究発表会(札幌管区)
1991年11月 8日
ウ 気象講演会 (旭川) 1991年11月22日
エ 特別講演会 (北大) 1991年12月20日
- (2) 東北支部
ア 気象講演会 (仙台) 1991年11月21日
イ 気象講演会 (仙台) 1991年12月20日
- (3) 中部支部
ア 支部総会 (名古屋)1991年 9月12日
イ 秋季大会 (名古屋)1991年10月23-25日
- (4) 関西支部
ア 総会・年会 (大阪) 1991年 6月 5日
イ 例会 (岡山) 1991年10月 4日
ウ 研究会 (京都) 1991年11月14日
エ 例会 (高松) 1991年11月22日
オ 例会 (神戸) 1992年 1月31日
- (5) 九州支部
気象講演会 (鹿児島)1992年 1月24日
- (6) 沖縄支部
ア 防災気象講演会 (那覇市)1991年12月 3日
イ 気象研究会 (那覇市)1992年 2月27-28日
- 7 普及活動
- (1) 第25回夏季大学
1991年 8月 5- 8日 気象庁
「人工衛星から地球をさぐる」
- (2) 関西支部第13回夏季大学
1991年 7月25-26日 大阪市なにわ会館
「大気の流れを見る」
- (3) 北海道支部第9回夏季大学
1991年 7月30-31日 札幌市青少年科学館
「新しい気象」
- 8 国際学術交流
- ・国際学術研究集会参加補助
 - (1)城岡竜一(フランス) 第25回国際レーダー-気象学会
 - (2)村山昌平(アメリカ) Symposium on the
Tropospheric Chemistry of the Antarctic
 - (3)秋吉英治(オーストリア) IUGG・IAMAP総会参加
 - (4)坪木和久(オーストリア) 同上
 - (5)森 厚(オーストリア) 同上
 - (6)隈 健一(オーストリア) 同上
 - (7)韭沢 浩(フランス) 「第4回航空気象システム」
国際コンファレンス
 - (8)西川雅高(韓国) 「2nd」 IUAPPA Regional
conference on Air Pollution
 - (9)高藪 出(イタリア) International work shop
on Mediterranean cyclons studies
 - (10)山中吾郎(フランス) NATO-ASI(Advanced STUDY
Institute) 「Modelling oceanic climate
interactions」
- 9 奨励金受領者選定規定(細則)の一部改正を行った。
- 10 パソコン通信
- ・通信速度の向上を行った。
 - ・IAMAP' 93を含む学会活動の広報や利用者相互の交流を強化した。
 - ・利用者は順調に拡大している。
- 11 IAMAP
- ・組織委員会及び実行委員会を組織した。
 - ・1st circularを発行した。
- 12 受託研究
- ・宇宙開発事業団から「熱帯降雨観測衛星計画」に関する調査研究の委託を受けた。
- 13 事務局
- ・1991年5月1日学会事務局が気象庁8階に移転し床面積が約2倍に拡張した。
 - ・会員データベースの運用体制を整備した。
 - ・日本気象学会の案内の改訂版を作成した。
(和文/英文)

収支計算書

1991年4月1日～1992年3月31日

1,991年度

(円)

1. 収入の部(1)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	内 記		差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備 考
			公益部門	収益部門			
1. 会費収入	34,586,000	35,191,483	35,191,483	0	605,483	101.8%	前年度前受会費含む
通常会員	25,544,000	26,664,838	26,664,838		1,120,838	104.4%	同上
特別会員	744,000	662,996	662,996		△81,004	89.1%	
団体会員	5,278,000	4,934,370	4,934,370		△343,630	93.5%	
賛助会員	3,020,000	2,929,279	2,929,279		△90,721	97.0%	
2. 基本財産運用	3,304,000	3,160,403	3,160,403	0	△143,597	95.7%	
一般基金	1,651,000	1,739,485	1,739,485		88,485	105.4%	基金、藤原、山本・正野、堀内
国際交流基金	1,653,000	1,420,918	1,420,918		△232,082	86.0%	
3. 事業収入	30,434,000	34,185,189	17,363,005	16,822,184	3,751,189	112.3%	
天気	3,042,000	3,983,000	0	3,983,000	941,000	130.9%	(収) 広告料、別刷代
気象集誌	6,572,000	7,445,616	4,891,214	2,554,402	873,616	113.3%	(公) 投稿料(収) 別刷代
気象研究ノート	10,658,000	6,780,874	6,780,874		△3,877,126	63.6%	3号分(4号予定)
予稿集	4,750,000	5,020,143	4,419,643	600,500	270,143	105.7%	(収) 広告料
大会開催	1,600,000	1,957,635	1,957,635	0	357,635	122.4%	春秋大会参加費等
教育と普及	845,000	778,500	778,500		△66,500	92.1%	夏季大学受講料、テキスト
ペーパーズ	312,000	141,601	141,601	141,601	△170,399	45.4%	2号分(4号予定)
書店扱	2,550,000	2,761,807	2,761,807		211,807	108.3%	
その他事業収入	105,000	5,316,013	5,316,013	0	5,211,013	5062.9%	受託研究費、予約懇親会費
4. 補助金収入	4,080,000	4,080,000	4,080,000	0	0	100.0%	
科学研究費	4,080,000	4,080,000	4,080,000		0	100.0%	
5. 寄付金収入	0	4,500	4,500	0	4,500	****	
寄付金	0	4,500	4,500		4,500	****	
募金	0	0	0		0	****	
6. 基本財産取崩収入	0	0	0	0	0	****	
一般基金	0	0	0	0	0	****	
国際交流基金	0	0	0	0	0	****	
7. 引当金取崩収入	4,002,000	5,371,713	5,371,713	0	1,369,713	134.2%	
退職金引当金	322,000	502,670	502,670		180,670	156.1%	91年度限りで廃止
総会費用引当金	1,140,000	1,245,838	1,245,838		105,838	109.3%	堀内基金に統合
堀内奨励賞引当金	0	586,824	586,824		586,824	****	
IAMAP準備金	2,540,000	3,036,381	3,036,381		496,381	119.5%	

収支計算書

1. 収入の部 (2) (円) 1,991年度 1991年4月1日～ 1992年3月31日

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	内		差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備考
			公益部門	収益部門			
8. 雑収入	1,512,000	1,395,138	1,087,464	307,674	△116,862	92.3%	
受取利息	1,232,000	1,267,054	1,087,464	179,590	35,054	102.8%	
印税・著作権料	280,000	128,084		128,084	△151,916	45.7%	
その他雑収入	0	0	0	0	0	****	
当期収入合計	77,918,000	83,388,426	66,258,568	17,129,858	5,470,426	107.0%	
前期繰越収支差額	1,908,000	1,907,566	△411,496	2,319,062	△434	100.0%	
収入合計	79,826,000	85,295,992	65,847,072	19,448,920	5,469,992	106.9%	

2. 支出の部 (1) (円) 1,991年度 1991年4月1日～ 1992年3月31日

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	内		差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備考
			公益部門	収益部門			
1. 事業費	53,461,000	63,151,434	52,594,380	10,557,054	9,690,434	118.1%	
天気	21,669,000	23,377,104	22,358,345	1,018,759	1,708,104	107.9%	
気象集誌	11,659,000	17,322,925	15,100,557	2,222,368	5,663,925	148.6%	(収) 別刷経費
気象研究ノート	8,697,000	6,849,971		6,849,971	△1,847,029	78.8%	
予稿集	2,126,000	2,428,562	2,398,562	30,000	302,562	114.2%	(収) 広告経費
大会開催	2,702,000	3,758,801	3,758,801		1,056,801	139.1%	会場費、運営費
教育と普及	798,000	917,720	917,720		119,720	115.0%	4号分
ベーパーズ	283,000	435,956		435,956	152,956	154.0%	
表彰・奨励	1,377,000	1,009,570	1,009,570		△367,430	73.3%	
国際学術交流	1,520,000	1,550,000	1,550,000		30,000	102.0%	
研究連絡会	90,000	0	0		△90,000	0.0%	
IAMAP準備委	2,540,000	1,680,000	1,680,000		△860,000	66.1%	
その他事業費	0	3,820,825	3,820,825	0	3,820,825	****	受託研究費、予約懇親会費

収支計算書

2. 支出の部 (2) (円) 1,991年度 1991年4月1日～1992年3月31日

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	内		収益部門	差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備考
			公益部門	記				
2. 管理費	22,041,000	21,387,684	16,004,141	5,383,543	△653,316	97.0%		
人件費	8,954,000	9,312,231	6,984,172	2,328,059	358,231	104.0%		
職員給料	6,400,000	7,079,101	5,309,325	1,769,776	679,101	110.6%	常勤職員2名	
福利厚生費	478,000	469,100	351,825	117,275	△8,900	98.1%		
臨時雇用賃金	2,076,000	1,764,030	1,323,022	441,008	△311,970	85.0%	天気書記、外国、会計庶務	
退職金	0	0	0	0	0	***		
事務局関連経費	7,451,000	6,939,004	5,204,249	1,734,755	△511,996	93.1%		
貸借料	900,000	732,324	549,243	183,081	△167,676	81.4%		
光熱水料	250,000	179,850	134,887	44,963	△70,150	71.9%		
消耗品	462,000	400,642	300,481	100,161	△61,358	86.7%		
什器備品	1,550,000	1,759,743	1,319,807	439,936	209,743	113.5%	会員データベース用パソコン	
借料	150,000	150,000	112,500	37,500	0	100.0%		
通信運搬費	1,410,000	1,206,489	904,866	301,623	△203,511	85.6%	電話料を含む	
印刷製本費	920,000	662,435	486,826	165,609	△257,565	72.0%		
旅費交通費	50,000	4,100	3,075	1,025	△45,900	8.2%		
会議費	20,000	1,650	1,237	413	△18,350	8.3%		
交際費	0	106,260	79,695	26,565	106,260	***		
手数料	75,000	296,033	222,024	74,009	221,033	394.7%	振込、会費のクレジット利用	
事務委託費	1,000,000	963,240	722,430	240,810	△36,760	96.3%	機関誌発送	
諸会費・謝金	464,000	284,496	213,372	71,124	△179,504	61.3%	会計士謝金、労働保険協会等	
その他	200,000	191,742	143,806	47,936	△8,258	95.9%		
パソコン通信	600,000	618,000	463,500	154,500	18,000	103.0%		
電算機開発管理	1,400,000	1,398,517	1,048,887	349,630	△1,483	99.9%	会員データベース等	
総会・役員会	696,000	565,942	424,456	141,486	△130,058	81.3%		
選挙費用	0	0	0	0	0	***		
支部交付金	2,540,000	2,500,450	1,875,337	625,113	△39,550	98.4%		
租税公課	400,000	53,540	3,540	50,000	△346,460	13.4%		
その他管理費	0	0	0	0	0	***		

収支計算書

2. 支出の部(3) (円) 1,991年度 1991年4月1日～1992年3月31日

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	内		訳	差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備考
			公益部門	収益部門				
3. 基本財産繰入	0	600,713	600,713			600,713	****	
一般基金	0	600,000	600,000			600,000	****	
国際交流基金	0	713	713			713	****	
4. 引当金繰入	350,000	702,444	702,444			352,444	200.7%	
退職金引当金	350,000	623,445	623,445			273,445	178.1%	
IAMAP準備金	0	36,381	36,381			36,381	****	
総会費用引当金	0	29,033	29,033			29,033	****	
堀内奨励費引当金	0	13,585	13,585			13,585	****	
5. 予備費	1,000,000	0	0	0	0	△1,000,000	0.0%	
当期支出合計	76,852,000	85,842,275	69,901,678	15,940,597		8,990,275	111.7%	
当期(純)収支差額	1,066,000	△2,453,849	△3,643,110	1,189,261		△3,519,849	△230.2%	
法人税等引当金繰入	0	350,000		350,000		350,000	****	
公益事業へ寄付	0			3,000,000		0	****	
次期繰越収支差額	2,974,000	△896,283	△1,054,606	158,323		△3,870,283	△30.1%	

堀内基金に繰入

損益計算書

1,991年度 1991年4月1日～年3月31日

(円)		(円)	
損失の部		利益の部	
事業支出	10,557,054	事業収入	9,684,282
印刷製本費	7,389,747	気象研究ノート収入	6,780,874
原稿料	583,464	書店扱収入	2,761,807
編集費	1,213,670	ペーパーズ	141,601
通信運搬費	1,370,173		
運営基本支出	5,383,543	その他の収入	7,445,576
職員給料	1,769,776	受取利息収入	179,590
福利厚生費	117,275	別刷収入	3,608,152
臨時雇用賃金	441,008	広告料収入	3,529,750
退職金	0	印税・著作権料収入	128,084
事務局関連経費	1,734,755		
パソコン通信	154,500		
電算機開発管理	349,630		
総会・役員会	141,486		
選挙費用	0		
支部交付金	625,113		
租税公課	50,000		
その他	0		
期首棚卸	1,461,192	期末棚卸	1,473,038
費用合計	17,401,789	収入合計	18,602,896
当期税引前利益	1,201,107		
法人税等引当金繰出	350,000		
公益事業に寄付	3,000,000		
前期繰越金	3,780,254		
当期繰越金	1,631,361		

貸借対照表

1991年度

1991年4月1日～ 1992年3月31日

勘定科目	合計	内		訳
		公益部門	収益部門	
I 資産の部 (資産合計)	85,756,073	83,334,776	2,421,297	
1. 流動資産	25,587,659	23,606,298	1,981,361	
現金	76,773	920,734	△843,961	
普通預金	4,885,702	3,533,418	1,352,284	
郵便振替貯金	1,511,142	1,511,142	0	
公社債信託	16,489,004	16,489,004	0	
(小計)	(22,962,621)	(22,454,298)	(508,323)	
棚卸資産	2,625,038	1,152,000	1,473,038	
2. 固定資産	60,168,414	59,728,478	439,936	
(1) 基本財産	53,316,238	53,316,238		
貸付信託	22,362,955	22,362,955		
公社債信託	30,953,283	30,953,283		
(2) その他	6,852,176	6,412,240	439,936	
金銭信託(退職引当)	950,903	950,903		
公社債信託(IAMAP)	3,000,000	3,000,000		
公社債信託(総会)	0	0		
公社債信託(堀内奨励賞)	0	0		
什器備品	2,901,273	2,461,337	439,936	
II 負債の部 (負債合計)	27,809,807	27,459,807	350,000	
1. 流動負債	23,858,904	23,508,904	350,000	
前受会費	23,508,246	23,508,246		
預り金	658	658		
法人税等引当金	350,000		350,000	
2. 固定負債	3,950,903	3,950,903		
退職金引当金	950,903	950,903		
IAMAP準備金	3,000,000	3,000,000		
総会費用引当金	0	0		
堀内奨励賞引当金	0	0		
III 正味財産の部 (当期繰越金)	57,946,266	55,874,969	2,071,297	
(うち基本財産)	(53,316,238)	(53,316,238)		
負債および正味財産の合計	85,756,073	83,334,776	2,421,297	

正味財産増減計算書

1991年度 1991年4月1日～ 1992年3月31日

	II 減少の部 (円)		I 増加の部 (円)	
	合計	公益部門	合計	公益部門
資産減少額	11,576,235	7,115,043	29,742,335	26,640,100
基本財産取崩	0	0	△2,453,849	△3,643,110
退職引当金取崩	502,670	502,670	600,713	600,713
IAMAP準備金取崩	3,036,381	3,036,381	623,445	623,445
総会費用引当金取崩	1,245,838	1,245,838	36,381	36,381
堀内奨励賞引当金取崩	586,824	586,824	29,033	29,033
什器備品減価償却費	457,460	457,460	13,585	13,585
期首棚卸額	2,747,062	1,285,870	1,759,743	1,319,807
公益事業へ寄付	3,000,000		2,625,038	1,152,000
負債増加額	24,560,690	24,210,690	23,508,246	23,508,246
退職引当金繰入	623,445	623,445	3,000,000	3,000,000
IAMAP準備金繰入	36,381	36,381	5,371,713	5,371,713
総会費用引当金繰入	29,033	29,033	502,670	502,670
堀内奨励賞引当金繰入	13,585	13,585	3,036,381	3,036,381
前受会費	23,508,246	23,508,246	1,245,838	1,245,838
法人税等引当金	350,000		586,824	586,824
減少額合計	36,136,925	31,325,733	35,114,048	32,011,813
当期正味財産増加額	△1,022,877	686,080	3,102,235	3,102,235
(うち基本財産増加額)	(600,713)	(600,713)	1,189,261	1,189,261
前期繰越正味財産額	58,969,143	55,188,889		
(うち基本財産)	(52,715,525)	(52,715,525)		
期末正味財産合計額	57,946,266	55,874,969		
(うち基本財産)	(53,316,238)	(53,316,238)		

財産目録

1992年3月31日現在

資産総額 85,756,073 円

種類	預入先	金額(円)	備考
1. 基本財産			
貸付信託	住友信託銀行 日比谷支店	11,750,000	基本金
	" "	6,500,000	山本・正野論文賞
	" "	1,600,000	藤原賞
	三井信託銀行	600,000	堀内基金
公社債信託	野村証券 銀座支店	1,912,955	藤原賞
	山一証券 新丸ビル支店	25,303,283	国際学術交流基金
	合計	5,650,000	堀内基金
合計 53,316,238			
2. その他の固定資産			
金銭信託	住友信託銀行 日比谷支店	950,903	退職給与引当金繰入
公社債信託	野村証券 銀座支店	0	総会費用引当金
	日興証券 新丸ビル支店	0	堀内奨励賞引当金
	住友信託銀行	3,000,000	IAMAP準備金
什器備品		2,901,273	
合計 6,852,176			
3. 流動資産			
現金	手元保管	76,773	
普通預金	第一勧業銀行 大手町支店	4,790,354	
	東京銀行	95,348	
郵便振替預金	中央郵便局	1,511,142	
公社債信託	野村証券 東京支店	8,234,827	
	日興証券 新丸ビル支店	8,254,177	
期末在庫高		2,625,038	
合計 25,587,659			

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針
 - 1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
有価証券... 総平均法による原価基準を採用している。
 - 2) 固定資産の減価償却について
什器備品... 定率法による減価償却を実施している。
 - 3) 引当金の計上基準について
退職給与引当金... 期末退職給与の要求額に相当する金額を計上している。
 - 4) 資金の範囲について
資金の範囲には、現金預金、未収金及び前受金を含めることとしている。
なお当期末残高は、2に記載するとおりである。
2. 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

科目	当期末残高	公益部門	収益部門
現金	76,773	920,734	△843,961
普通預金	4,885,702	3,533,418	1,352,284
郵便振替貯金	1,511,142	1,511,142	0
公社債信託	16,489,004	16,489,004	0
(合計)	(22,962,621)	(22,454,298)	(508,323)
前受会費	23,508,246	23,508,246	
預り金	658	658	
法人税等引当金	350,000		350,000
次期繰越収支差額	△896,283	△1,054,606	158,323

3. 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科目	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	0	0	11,750,000
藤原賞	0	0	3,512,955
山本・正野論文賞	0	0	6,500,000
国際学術交流基金	713	0	25,303,283
堀内基金	600,000	0	6,250,000
合計	600,713	0	53,316,238

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額、及び当期末残高は次のとおりである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	5,590,417	2,689,144	2,901,273
合計	5,590,417	2,689,144	2,901,273

社団法人日本気象学会監査報告

社団法人日本気象学会の財産および業務執行の状況を次のとおり報告する。

1. 監 査 月 日 平成4年4月16日
2. 監 査 場 所 東京都千代田区大手町1-3-4気象庁内
社団法人日本気象学会事務局
3. 監 査 帳 簿
 - (1) 平成2年度集誌計算書他
 - (2) 財産目録
 - (3) 総勘定元帳
 - (4) 現金出納帳
 - (5) 預金出納帳
 - (6) 備品台帳
 - (7) 備品出納帳
 - (8) 領収書類
 - (9) 預金証書および普通預金通帳
 - (10) 郵便局振替払出納帳
 - (11) 国庫金送金通知書綴
 - (12) 現金書留受領簿
 - (13) 小切手帳および小切手受払簿
 - (14) 平成2年度事業報告書
4. 監 査 内 容
 - (1) 平成2年度集誌計算書およびその他の計算書について、その経理状況を監査すると共に、財政状況を調べた。
 - (2) 上記の帳簿類について、照合を行うと共に、出納状況および記載事項の監査を実施した。
 - (3) 学会の運営状況について聴取し、意見を述べた。

監査意見

1991年度(1991年4月1日から1992年3月31日まで)の監査を1992年4月16日に学会事務室において実施した。収支計算書及びその他の計算書は正しいと認める。また、帳簿類は照合の結果、正確に記載されている。帳簿の整理については、昨年の改善指示が生かされており、簡明になっている。事務処理の簡素化と機械化については、会員データベースの充実によりその成果が現れているが、学会活動の拡大と共にさらに事務量の増加が考えられるので、今後も推進していく必要がある。

会費の納入状況は順調であり、財政規模は拡大安定している。本年度の支出額の中では、気象集誌の項目が際だっているが、これは「アジアモンスーン特集号」の発刊によるものであり、一時的なものと考えられる。しかしながら、決算額は予算額を大幅に超えており、今後は特集号といえども編集計画の際に経費節減の努力を行う必要がある。

事業は概ね計画通りに遂行されている。機関誌の発刊部数も昨年度と同じであるが、気象集誌の購読者はここ数年安定しているので、海外購読者を増やすと共に発刊部数を適正量に調整する必要がある。また、気象研究ノートは年間4号の発刊という計画通りに実行するのが困難なことは理解できるが、ここ2・3年は計画を下回っており、1991年度も3号しか発刊していない。このような状況は、学会の財政に悪影響を与えるばかりでなく、気象研究ノートに対する会員の期待を裏切ることにもなる。今後は、毎年年度の具体的な発刊計画を年度当初に公表すると共に、確実に実現して行くような体制を整えるべきである。


国際学术交流は、研究集会参加補助の人数及び交流費からも着実に拡大していることがうかがえる。引き続き学会の活性化のためにも、国際化を推進していく必要がある。

学会活動と社会との係わりは、近年の世界的な環境問題の高まりと共に深くなり、学会の果たす役割も重要になると考えられる。この観点から、気象知識の普及活動の推進及び他学会との連携を密にすることが必要であり、また、学会活動を支える運営体制及び役員制度の見直しを急ぐ必要がある。

このような問題に対応しつつ、学会組織の強化と事務処理の整備を着実に進めてきた役員及び事務局員の努力を高く評価する。

1992年4月16日

監事 関口理郎 

監事 多田一正 

会費値上げに関する「定款の一部改訂」の提案

<趣旨>

学会の運営および活動は、会費収入を主とし、文部省助成金や学会の事業収入などを補いとして、賄われています。学会当局は、物価高などによる諸経費漸増に伴う学会の負担増に対して、経費節減に対応して参りましたが、今後の学会活動とそれに見合う健全な財政とを維持してゆくためには、今の時点で会費を上げざるをえない状況にあると判断致しました。そのため、会費に係わる定款の一部を以下のように改訂することを提案いたします。

日本気象学会定款

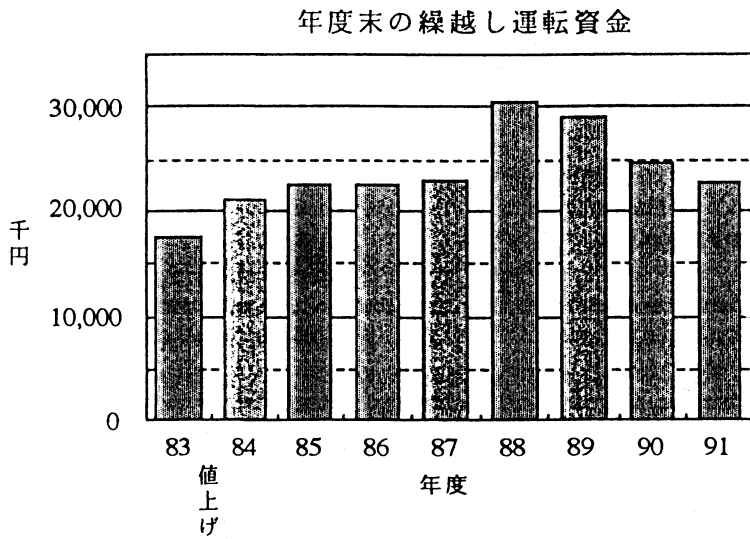
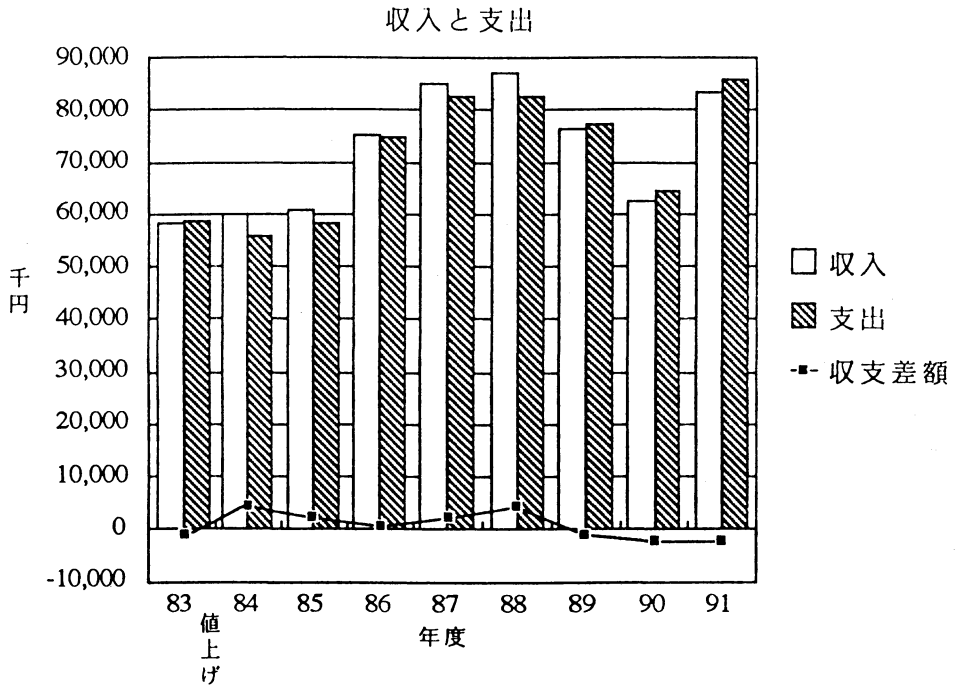
現 行

- 第6条 この会員の種別および会費は、次のとおりとする。
1. 通常会員 この法人の目的に賛同し、次の区分により会費を前納する個人
 - A 会員 会費として年額5,500円を納める個人、ただし在学中の会員は年額3,500円とする。
 - B 会員 会費として年額10,300円を納める個人、ただし在学中の会員は年額6,500円とする。
 2. 特別会員 この法人の目的事業に賛同し、会費として年額6,000円を前納する個人、または1口9,000円を1口以上納める団体。
 3. 団体会員 この法人の目的事業に賛同し、会費年額A会員として1口7,200円を1口以上、B会員として1口14,400円を1口以上納める団体。
 4. 賛助会員 この法人の事業を後援し、会費年額30,000円以上を納める個人または団体。
 5. 名誉会員 この法人に対しとくに功勞のあった者で総会の議決をもって推薦する個人。
前項第1号の会費の納付期限は、12月末日限りとする。通常会員をもって民法上の社員とする。

改正案（改正条項のみ）

- 第6条 この会員の種別および会費は、次のとおりとする。
1. 通常会員 この法人の目的に賛同し、次の区分により会費を前納する個人
 - A 会員 会費として年額6,900円を納める個人、ただし在学中の会員は年額4,200円とする。
 - B 会員 会費として年額12,600円を納める個人、ただし在学中の会員は年額8,100円とする。
 2. 特別会員 この法人の目的事業に賛同し、会費として年額6,600円を前納する個人、または1口10,200円を1口以上納める団体。
 3. 団体会員 この法人の目的事業に賛同し、会費年額A会員として1口9,000円を1口以上、B会員として1口18,000円を1口以上納める団体。
 4. 賛助会員 この法人の事業を後援し、会費年額40,000円以上を納める個人または団体。
 5. 名誉会員 この法人に対しとくに功勞のあった者で総会の議決をもって推薦する個人。
前項第1号の会費の納付期限は、12月末日限りとする。通常会員をもって民法上の社員とする。

収支決算状況の推移



1992年度事業計画

1 機関誌等の刊行

(1) 天 気 39巻4号-40巻3号

(2) 気象集誌 70巻2号-71巻1号

(3) 気象研究ノート 174号-178号

予定「ファジー理論と気象学」

「ソリトン」

「大気-雪氷相互作用」

「オゾン研究の展望(仮題)」

「地質時代の気候変動」

2 講演会および研究会

(1) 春季大会 1992年 5月26日-28日

つくば：工業技術院(担当：気象研究所)

シンポジウム「新しい観測システム」

(2) 秋季大会 1992年10月 7日- 9日

札幌：札幌市教育文化会館

(担当：北海道支部)

シンポジウム「都市豪雪」

(3) 研究会、月例会等及び他学会との共催等

3 普及活動

(1) 第26回夏季大学

1992年 8月 3- 5日 気象庁

「天気予報を支える科学」

(2) 関西支部第14回夏季大学

1992年 7月27- 28日 大阪市なにわ会館

「地球温暖化及びオゾン層破壊」

(3) 北海道支部第10回夏季大学

1992年 7月30日 札幌市青少年科学館

札幌管区気象台

「新しい気象」

4 国際学術交流

・研究集会参加補助

・「集中豪雨と洪水に関するシンポジウム」

中国国家気象局と共催

5 1993年のIAMAP開催の準備

・実行委員会のもとに財務、展示及び接遇等の小委員会を設置し具体的な活動を開始する。

6 第27期日本気象学会役員選挙を行う。

7 学会費の値上げ

・1992年春の総会に提案、1993年 1月から実施。

8 事務局常勤職員を3名とする。

収支予算書（案）

1992年度

1992年4月1日より

1993年3月31日まで

1. 収入の部 (千円)

勘定科目	91年度 予算	92年度 予算	内 訳		増減	備考
			公益部門	収益部門		
1. 会費	34,586	33,844	33,844		△742	92年2月1日の会員数
通常会員	25,544	25,026	25,026		△518	
特別会員	744	597	597		△147	
団体会員	5,278	5,292	5,292		14	
賛助会員	3,020	2,929	2,929		△91	
2. 基本財産運用	3,304	2,602	2,602		△702	金利5.5%
一般基金	1,651	1,545	1,545		△106	
国際交流基金	1,653	1,057	1,057		△596	
3. 事業収入	30,434	34,168	12,560	21,608	3,734	4号,1550部,160頁 2200冊販売 91年度実績 夏季大学参加費とテキスト 92年度より取扱停止 他の刊行物,受託業務
天気	3,042	3,900	0	3,900	858	
気象集誌	6,572	7,400	4,900	2,500	828	
気象研究ノート	10,658	11,408		11,408	750	
予稿集	4,750	5,000	4,400	600	250	
大会開催	1,600	1,800	1,800		200	
教育と普及	845	700	700		△145	
ペーパーズ	312	0		0	△312	
書店扱	2,550	3,200		3,200	650	
その他事業収入	105	760	760	0	655	
4. 補助金収入	4,080	4,080	4,080		0	科学研究費
科学研究費	4,080	4,080	4,080		0	
5. 寄付金収入	0	0	0		0	寄付金 募金
寄付金	0	0	0		0	
募金	0	0	0		0	
6. 引当金取崩	4,002	932	932		△3,070	92年度より科目廃止
退職金引当金	322	932	932		610	
総会費用引当金	1,140	0	0		△1,140	
IAMAP準備金	2,540	0	0		△2,540	
7. 雑収入	1,512	1,091	888	203	△421	引当金,準備金,運用財産
受取利息	1,232	971	888	83	△261	
印税・著作権料	280	120	0	120	△160	
その他雑収入	0	0	0	0	0	
当期収入合計	77,918	76,717	54,906	21,811	△1,201	
前期繰越収支差額	1,908	△896	△1,054	158	△2,804	
収入合計	79,826	75,821	53,852	21,969	△4,005	

2. 支出の部 (千円)

勘定科目	91年度 予算	92年度 予算	内 訳		増減	備考
			公益部門	収益部門		
I. 事業費	53,461	54,468	39,416	15,052	1,007	
天気	21,669	23,426	20,192	3,234	1,757	
印刷製本費	17,268	18,506	15,342	3,164	1,238	カラ-頁, 気象手引
編集委員会費	1,300	1,200	1,200	0	△100	
通信運搬費	3,101	3,720	3,650	70	619	
気象集誌	11,659	10,816	9,816	1,000	△843	印刷部数減
印刷製本費	8,417	7,582	6,732	850	△835	電子出版
編集委員会費	1,289	1,289	1,289	0	0	
校正料	615	630	630	0	15	
通信運搬費	1,338	1,315	1,165	150	△23	
気象研究ノート	8,697	10,775	0	10,775	2,078	5号, 1850部, 160頁
印刷製本費	6,444	8,880	0	8,880	2,436	電子出版
編集委員会費	703	595	0	595	△108	
原稿料	972	800	0	800	△172	
通信運搬費	578	500	0	500	△78	
予稿集	2,126	2,436	2,393	43	310	2300部印刷, 年500頁
印刷製本費	1,741	2,005	1,962	43	264	
通信運搬費	385	431	431	0	46	
大会開催	2,702	3,002	3,002	0	300	
春秋大会	2,400	2,700	2,700	0	300	本部からの補助金
その他会合	152	152	152	0	0	地球科学シンポジウム他
講演企画委	150	150	150	0	0	若手会補助を含む
教育と普及	798	745	745	0	△53	
委員会	150	150	150	0	0	
夏季大学	648	595	595	0	△53	会場費、設営費、印刷費
ペーパーズ	283	0	0	0	△283	
表彰・奨励	1,377	1,152	1,152	0	△225	
賞金	910	910	910	0	0	
委員会	127	127	127	0	0	
雑費	340	115	115	0	△225	
国際学術交流	1,520	1,220	1,220	0	△300	
参加旅費補助	1,500	1,200	1,200	0	△300	
交流事業	0	0	0	0	0	
委員会費	20	20	20	0	0	
研究連絡会	90	120	120	0	30	極域, オゾン, メソ, 大気海洋
IAMAP準備委	2,540	776	776	0	△1,764	
その他事業費	0	0	0	0	0	受託業務等

勘定科目	91年度 予算	92年度 予算	内 訳		増減	備考	
			公益部門	収益部門		収益収入比率	
2. 管理費	22,041	24,731	18,547	6,184	2,690	収益収入比率	25.00%
人件費	8,954	12,339	9,254	3,085	3,385	3名に定員増 事務器, 計算機, その他 郵便, 電話 封筒, 雑誌製本, 総会資料 発送, 会費請求, 入金 会計士, 公益法人, 労災保険 会員データベース, 会計事務	
職員給料	6,400	10,871	8,153	2,718	4,471		
福利厚生費	478	675	506	169	197		
臨時雇用賃金	2,076	793	595	198	△1,283		
退職金	0	932	699	233	932		
事務局関連経費	7,451	5,966	4,472	1,494	△1,485		
賃借料	900	800	600	200	△100		
光熱水料	250	180	135	45	△70		
消耗品	462	462	346	116	0		
什器備品	1,550	600	450	150	△950		
借料	150	210	157	53	60		
通信運搬費	1,410	1,210	907	303	△200		
印刷費	920	700	525	175	△220		
旅費交通費	50	10	7	3	△40		
会議費	20	10	7	3	△10		
交際費	0	100	75	25	100		
手数料	75	300	225	75	225		
事務委託費	1,000	1,000	750	250	0		
諸会費・謝金	464	284	213	71	△180		
その他	200	100	75	25	△100		
パソコン通信	600	643	482	161	43		
電算機開発管理	1,400	700	525	175	△700		
総会・役員会	696	825	619	206	129		
選挙費用	0	800	600	200	800		
支部交付金	2,540	2,520	1,890	630	△20		
租税公課	400	6	6	0	△394		
その他管理費	0	0	0	0	0		
3 基本財産繰入	0	0	0	0	0		
一般基金	0	0	0	0	0		
国際交流基金	0	0	0	0	0		
4. 引当金繰入	350	550	550	0	200		
退職引当金	350	550	550	0	200		
IAMAP準備金	0	0	0	0	0		
5. 予備費	1,000	1,000	750	250	0		
当期支出合計	76,852	80,749	59,263	21,486	3,897		
当期权支差額	1,066	△4,032	△4,357	325	△5,098		
次期繰越収支差額	2,974	△4,928	△5,411	483	△7,902		